

今日のトピック インド株式市場は緩やかな上昇（2020年4月後半） 追加金融支援策や政府の追加経済対策期待が支え

【インド市場の推移】

インド市場	基準日	騰落率または変化幅 (%)			
	4月22日	1週間	1か月	6か月	1年
為替レート					
円/ルピー (円)	1.41	▲0.0	▲4.7	▲8.1	▲12.5
ルピー/米ドル (ルピー)	76.67	0.3	2.0	8.1	10.0
金利 (%)					
政策金利	4.40	0.00	▲0.75	▲0.75	▲1.60
10年国債利回り	6.22	▲0.20	▲0.04	▲0.32	▲1.25
株価指数 (ポイント)					
SENSEX	31,379	3.3	4.9	▲19.5	▲18.8
NIFTY中型株100	12,803	2.2	1.1	▲21.1	▲27.9

(注) データは2020年4月22日基準。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【インドの株式、通貨】



(注) データは2019年4月22日～2020年4月22日。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ポイント1 4月のSENSEX指数は緩やかに上昇

- 4月のインド株式市場は、米連邦準備制度理事会（FRB）の2.3兆ドルの資金供給策などの積極的な政策対応などからリスク選好の動きが強まり、先進国の株式市場が大きく上昇するなか、下値を切り上げる展開となっています。代表的な株価指数のSENSEX指数は、3月末の29,468ポイントからじり高で推移し、17日のインド準備銀行（RBI）の追加支援策などを追い風に、20日には31,648ポイントと、約1か月ぶりの高値をつけました。21日は、原油価格が急落したことを受けて再び投資家のリスク回避姿勢が強まり、急反落したものの、22日には米IT大手によるインド企業への出資案件を材料に大きく買い戻されました。

ポイント2 インド準備銀行が追加の金融支援策

- インド準備銀行（RBI）は17日、新型コロナウイルスの感染拡大で打撃を受ける経済を下支えするため、追加の金融政策パッケージを発表しました。1兆ルピーの追加支援策を決め、5千億ルピーは市場への資金注入を通じてノンバンクの救済に、残る5千億ルピーは農業向けなどの貸し出しを行う銀行に融資します。このほか、銀行の余資運用に使われる金利を引き下げ、資金の民間経済への還流を促しました。

今後の展開 政府の経済対策第2弾が注目される

- インド株式市場は、新型コロナウイルス対策の都市封鎖延長による経済活動の停滞や、感染者拡大への懸念から上値が重い展開が見込まれます。一方、RBIが金融緩和策を強化していることに加え、インド政府が3月に発表した第1弾の経済刺激策に続く第2弾の経済対策を準備していることへの期待が下値を支えそうです。原油安も、インド株式市場にとって中長期的にはプラス材料と考えられます。

ここもチェック! 2020年4月6日 アジア・マーケット・マンスリー（2020年4月）
2020年4月1日 新型コロナの影響でインド株式市場は大幅安

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。